

# ざ・ちゅうおう ぶれす

2018年3月号 第91号

発行：世田谷区立中央図書館  
世田谷区弦巻3-16-8  
TEL 3429-1811  
FAX 3429-7436

図書館ホームページ（パソコン） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

（携帯） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぶれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

## ようこそ 新ホームページへ

世田谷区立図書館のホームページがリニューアルしました。  
パスワードとメールアドレスを登録して便利な機能を活用しましょう。  
(5頁参照)



### 中央図書館カレンダー

3月							4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5					1	2		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30							

#### 開館時間

火～日 10:00～19:00  
月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、中央図書館休館日です。  
■ は、17時に閉館です。

THE SETAGAYA CENTRAL LIBRARY PRESS

## 書を調べ、町へ出よう～江戸時代の世田谷図書館！？～

今回は、江戸時代の図書館ともいふべき「玉川文庫」と、これを開いた石井氏について調べてみました。

玉川文庫の概要は次のとおりです。

開設 元禄3年（1690年） ※焼失後、寛政12年（1800年）再建

所在地 武蔵国中丸郷大蔵村（現在の世田谷区大蔵）

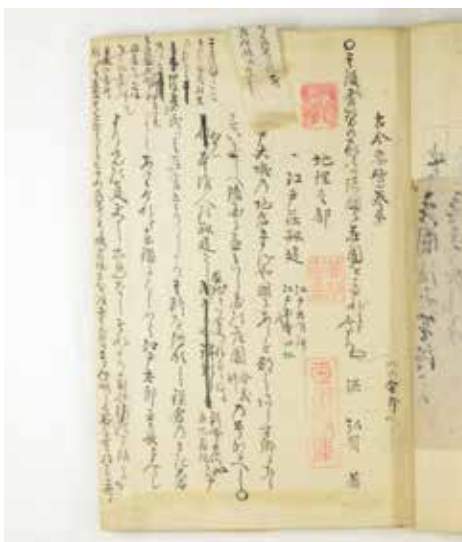
資料数 和書漢籍等数万冊

開設した場所は、大蔵村の名主石井兼重の屋敷内で、数万巻といわれる資料は、石井氏が喜多見藩から引き継いだものだそうです。喜多見藩は元禄2年（1689年）に除封※1 廃藩、藩主だった喜多見氏※2の一族は散り散りになりましたが、収集し所蔵してきた書物等は家人によって石井氏に継承されました。

石井氏は元は武士の家柄でしたが、仕えていた北条氏が滅亡し、徳川の治世になった際には禄を与えられず武士として身を立てられなくなり、拝領した大蔵の土地を以って帰農することとなりました。喜多見氏とは親戚関係にあり、その影響か元禄に入ってから帯刀禁止（武士の身分を放棄させる）の処分が下されています。

六代当主石井兼重は学問に明るい人物で、元禄3年（1690年）に引き継いだ書物を活用して家塾管刈学舎を開き、郷党※3に教授するとともに、「望み乞う人あればこれを貸し与えて読ましむ」、まさに地域の図書館と言うべき「玉川文庫」を開設します。玉川文庫は享保11年（1726年）に火事で焼失してしまいましたが、寛政12年（1800年）に再建、後述する石井至穀が住居を移す際にこの文庫も深川に移転した、とあります。

資料の一部は現存しており、「玉川文庫」の押印のある資料が国文学研究資料館、早稲田大学図書館などで確認されています。



石井至穀が編集手伝役として編纂に携わった「古今要覧稿」と「玉川文庫」の蔵書印  
（国文学研究資料館「蔵書印データベース」より）

十代当主の石井至穀<sup>いししこく</sup>は幼少の頃から学問を学び、将来仕官することを志していました。元服後父に大蔵村に呼び戻されますが、家督を弟に譲って江戸に戻り、32歳の時御家人の株を手に入れ幕臣になります。石井氏として再び武士の身分に復帰したことになるわけですが、これに留まらず、武勲より内政能力・学力の求められる時代<sup>ここんようらんこう</sup>にあって『古今要覧稿』の編纂、昌平坂学問所勤番など実績を重ね、74歳で書物奉行に昇進します。

書物奉行は江戸城内の書物庫（紅葉山文庫）の管理や資料の収集・分類・貸出・保存・調査などを担う役職で、現在でいうと国立国会図書館のトップというところでしょう。青木昆陽、深見有隣、高橋景保などもこの職にありました。

また、仕事の傍ら多くの書物を記しており、特に喜多見流茶道の復元や地元世田谷・喜多見・大蔵についての記録は、貴重な歴史資料となっています。

至穀は82歳まで勤め上げ、文久元年（1861年）84歳で没しました。かつて玉川文庫があった地の隣、永安寺にお墓があります。至穀の著した貴重な資料は子孫の方より郷土資料館に寄託され、世田谷区の指定有形文化財として保存されています。



天台宗 永安寺<sup>えいあんじ</sup>

鎌倉の大蔵谷にあった永安寺（ようあんじ）にちなんで延徳2年（1490年）に武蔵国中丸郷大蔵村（現在の世田谷区大蔵）の地に再興されました。秋には銀杏<sup>いちょう</sup>の落葉で境内が黄金色に染まります。

ここから宣伝になりますが、昭和61年（1986年）から平成9年（1997年）にかけて、世田谷区では『風は世田谷』というテレビ番組（全540回）を制作しており、第330回で石井至穀の伝記を特集しています。

『風は世田谷』は、全話がYoutubeで視聴できるほか、広報広聴課および中央図書館でDVDの貸出を行っております。どうぞご利用ください。

- ※1 幕府が与えていた領地を取り上げる。加封の逆。
- ※2 喜多見氏は、元は江戸氏と称していましたが、徳川家康の御家人となり改姓、喜多見藩の藩主となりました。石井兼重の父、喜多見重勝は喜多見流茶道を興し、その屋敷跡である喜多見陣屋遺跡からは茶器などが出土しています。
- ※3 ここでは「地元の仲間たち」の意味

今回調べた地域資料等（いずれも中央図書館に所蔵しています。）

- ・グラフせたがや 第44号
- ・世田谷区史年表稿 GA2100
- ・せたがや社寺と史跡 7881は
- ・慶元寺報集録 江戸・喜多見氏について GA2100
- ・喜多見氏と喜多見流茶道 GA7910
- ・石井至穀著作集 GA9185
- ・せたがや ゆかりの人 GA2810



### 第1部 子ども読書リーダー（子ども司書）による発表

子ども読書リーダーとは、友だちに本のすばらしさを伝え、本との結びつきを手助けする役割を担っています。まずは玉川台図書館で活動している4名が、子ども読書リーダーになるための講座を受講したときの様子や、読み聞かせ活動などを寸劇形式で発表したり、手遊びの実演をしました。次に、梅丘図書館で活動する3名が、「しりとり」をしながら関連する絵本の読み聞かせや、素話、落語を披露しました。全員が、日ごろの読み聞かせの成果を発揮し、堂々と演じることができました。



### 第2部 京極夏彦氏による講演「日本語と妖怪」

小説家である京極夏彦さんは日本語文化の専門家の立場から、「日本語」も「妖怪」も元々柔軟性を持っているという共通点があり、両者とも時代とともに、民意を得て自然に変化してきた歴史を、豊富な例を交えながらお話していただきました。「日本語と妖怪」という意外性のある演題を見事に結びつけた大変興味をそそられるお話でした。京極氏のユ



ーモアたっぷりの語り口に会場からは終始なごやかな笑いが起こっていました。

アンケートでは「子ども読書リーダーの存在を初めて知った、子どもが対象年齢になったら講座を勧めてみたい」「日本語の文化に絡めた妖怪のお話を聞いてよかった」等の感想をたくさんいただき、日本語の新たなおもしろさに触れていただけました。(参加者239名)

## 大人のビブリオバトル & 内野安彦氏講演会

1月27日(土)教育センター「ぎんが」にて

### 第1部 大人のビブリオバトル

区内在住18歳以上の6名による発表でした。前後半3名ずつ発表し、会場全員の投票により2冊のチャンプ本を決定しました。

← 前半：「大勢の中のあなたへ」ひきたよしあき著（朝日学生新聞社）

後半：「五色の虹－満州建国大学卒業生たちの戦後－」

三浦英之著（集英社） →



### 第2部 内野安彦氏による講演

『図書館からのメッセージ @Dr.ルイスの“本”のひととき』

元長野県塩尻市立図書館長、ライブラリアンコーディネーターの内野安彦氏は、図書館に関する著書も多く、FMかしまのラジオ番組のパーソナリティでもあります。

全国の図書館員と交流されている内野氏ならではの、多岐にわたるお話でした。

アンケートでは「図書館の意義を改めて考えさせられた」等の感想をいただき、図書館のあり方について考えるきっかけとなる講演でした。(参加者60名)



# 平成29年度世田谷区家庭読書の日

～～ 標語が決定しました！ ～～

平成29年度の「世田谷区家庭読書の日」の標語が決定しました。7月20日から9月5日の募集期間に977件の応募があり、以下のとおり優秀作品が選ばれました。

12月9日（土）に開催された「世田谷区家庭読書の日記念講演会」の際に表彰式を行い、発表しました。

これらの作品は、しおりにして図書館で配布しています。ご自由にお持ちください。

- ★★最優秀賞★★ 石川 昇さん  
子に乗せた 膝に孫乗せ 読み聞かせ
- ★優秀賞 小学生以下の部★ 山下 桃奈さん  
めくるたび はじまるわたしの だいぼうけん
- ★優秀賞 中学生の部★ 高橋 明希さん  
言の葉の 宝探しを 図書館で
- ★優秀賞 一般の部★ 藍 武二郎さん  
老いてなお 知識と知恵が また一つ

～～ 西巻茅子さんの講演会 ～～



講演会は、『わたしのワンピース』（こぐま社）などが長く愛され続けている絵本作家の西巻茅子さんをお招きし、「子ども一絵本一わたし」と題して開催されました。



Photoby 大竹英洋  
最優秀賞作品のポストカード

## 図書館JAZZコンサートIN砧

12月10日（日）

砧図書館地下集会室にて、JAZZコンサートを開催しました。東京農業大学「サニーサイドジャズオーケストラ」からドラム、トランペット、サクソ、ベース、キーボードの5名をお招きしました。「星に願いを」「A列車で行こう」など子どもから大人まで楽しめる演奏に「子どもと一緒に楽器の間近で演奏を聴けてよかった」「楽器紹介などトークが楽しかった」との声をいただきました。JAZZの心地よい調べの中、笑みのこぼれる和やかなひとときとなりました。

（参加者 91名）



サニーサイドジャズオーケストラのみなさん♪

## 図書館活用講座（入門編）

11月16日（木） 尾山台図書館

12月14日（木） 世田谷図書館

図書館のことを知ってもらい、上手に利用していただくために、図書館活用講座（入門編）を開催しました。図書の種類や図書館ホームページの使い方などについての講義と館内見学の後、中央図書館へと場所を移し、普段は利用者の方が入ることのできない保存庫の見学を行いました。「図書館業務の裏側を知ることができ面白かった」「検索がわかりやすくなりそう」「今後図書館を活用する際の参考となった」との声をいただきました。



中央図書館 保存庫見学



世田谷図書館 講義風景

# 図書館のホームページがリニューアルしました —メールアドレスを登録して便利に活用しましょう—

はじめての方は、まず図書館の窓口で手続きをしてパスワードを受け取ってください。(健康保険証などの、氏名・生年月日・住所が確認できる公的な書類を、本人が持参してください。)

## 1 メールアドレスの登録

メールアドレスを登録して、資料予約時に連絡方法を「メール」にすると、貸し出しの用意ができたときの連絡を電子メールで受け取ることができます。

①【利用者メニュー】にカーソルを乗せます。

②【メールアドレス登録・変更】をクリックします。

パスワードを変更するときは、こちらを。パスワードは、4～8文字の半角英数字(小文字・大文字は区別する)にしてください。

③利用者 ID(図書館共通利用カードの10桁の数字)とパスワードを入力して「ログイン」をクリック。

④「メールアドレス登録へ」をクリック。

⑤メールアドレスを入力し、「登録する」をクリックします。

## 2 各種通知サービスの登録 (新しいサービスです)

上記の利用者メニューで、返却期限が近づいた通知と、新着図書のお知らせを電子メールで受け取るサービスが登録できます。

## 3 借りている資料の延長をしたいとき

新ホームページでは、貸出状況照会の画面から、延長もできます。

- ①ログイン後、利用者メニューから貸出状況照会へ進みます。
- ②延長できる場合は、右端の貸出延長の欄に **延長する** というボタンが表示されます。  
このボタンをクリックした日から2週間延長されます。



# 新着図書案内



## 『一〇五度』

佐藤まどか著（あすなろ書房）

タイトルの『一〇五度』ってナニ？それは、人間工学的に理想とされる人間が最もリラックスできるイスの背もたれの角度のことらしい。

この物語は、イスのデザインが好きな中学3年の男の子が、ちょっと変わった女の子と偶然知り合い、反対する周囲には極秘で「全国学生チェアデザインコンテスト」に挑戦していくという物語です。

二人とも祖父がイス職人だったことから意気投合し、目標に向かって突き進んでいきます。イスの製作過程を通じて、イスの背もたれの角度のように適切な人間関係のあり方、将来の夢と進路選択の可能性などについて考えさせてくれます。



【請求記号 J赤さ】

## 『日本メディア史年表』

土屋礼子編（吉川弘文館）

本書は初めての日本のメディア史と関連する項目の年表です。近代に新しく登場した情報媒体を対象としているので、1837年のモルスの電信機の発明から、2015年の広告代理店の過労死事件までの、約180年間でまとめられています。

新聞・出版、通信・放送、映画、IT、広告会社などの発達や動向に加え、技術革新、映画・文学作品、さらには、浅間山荘事件やネット選挙活動などのメディア史でも画期となった出来事も盛り込まれています。

基本は年表ですが、豊富な写真やコラムもあり、メディアをめぐる技術革新と社会変動の関係が実感できます。



【請求記号 3614に】

## 『図説 ビール』

キリンビール株式会社著（河出書房新社）

ビールは人々の喉を潤してリフレッシュ効果をもたらしたり、会話を弾ませることに一役買うこともあります。本書は、キリンビール株式会社が長年取り組んできたビール文化研究の蓄積をまとめたものです。

様々な種類のビール、歴史、原料、作り方といった基本的な情報から、ビールを愛した偉人たちといった通な情報まで紹介されています。また、明治～昭和にかけて使用されたビールのラベルやポスターが、豊富なカラー図版を用いて掲載されています。

今まで味わったことのないビールを発掘できるかもしれません。ビールが好きな方も苦手な方も魅力がひしひしと伝わる一冊です。



【請求記号 5885き】

## 『琥珀の夢-小説鳥井信治郎-上・下巻』

伊集院静著（集英社）

平成26年度の朝の連続テレビ小説「マッサン」はニッカウヰスキーの竹鶴政孝氏とリタさんの夫婦の奮闘記で話題になりました。今回ご紹介する小説は、その竹鶴氏と深い関係があるサントリーの創業者の鳥井信治郎氏の魂を描いた物語です。

13歳で丁稚奉公先の薬種問屋で、洋酒と出会い魅了される。厳しく大阪商人の魂を叩き込まれて20歳で独立して、葡萄酒の製造販売をしながら、やがて日本初の国産ウヰスキー造りに乗り出します。それは苦難の連続でしたが、サントリーの「やってみなはれ。」の精神で、失敗を恐れなくて挑戦することこそが大切であると感じさせてくれます。この春大学生や社会人になる若い方々にお勧めの一冊です。「日本経済新聞連載」



【請求記号 F1いし】

# 図書館からのお知らせ

## 10代のビブリオバトル開催！

### 観戦者大募集

日時：3月24日（土）午後2時～3時45分  
会場：教育センター（中央図書館）3階「ぎんが」  
申込：どなたでも観戦できます。当日直接会場へ。  
大人の方の観戦も大歓迎（先着100名）

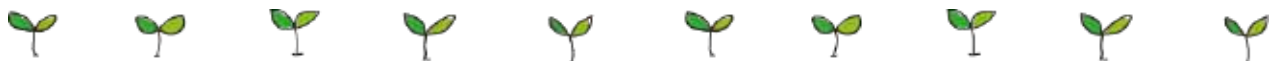
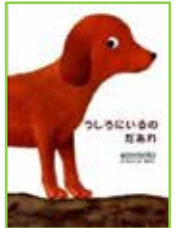
※ビブリオバトルとは、バトラー（発表者）が面白いと思った本を5分で紹介・質疑応答を行います。すべての発表が終わったら「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に参加者全員で投票を行い、もっとも多い票を集めた「チャンプ本」を決めるものです。

あなたの1票でチャンプ本が決まります！

「子ども読書の日」記念講演会&ワークショップ  
accototo（ふくだとしお）の絵本の世界  
& 「たどってごらん」絵本づくり

日時：4月21日（土）  
午後2時～4時  
会場：教育センター（中央図書館）  
3階「ぎんが」

対象：小学生から大人まで、先着120名  
申込：4月1日（日）～4月15日（日）の間に  
電話またはFAXで「せたがやコール」へ。  
電話：5432-3333  
FAX：5432-3100  
保育・手話通訳：有り。  
詳しくは区報4月1日号をご覧ください。



## 新こどもページ・Teens ページ紹介



（こどもページのメニュー画面）

1月5日から図書館のホームページが新しくなりました。「こどもページ」「Teens のページ」では絵本・アニメーション作家の山村浩二さん作の絵本『おやおや、おやさい』、『くだものだもの』（どちらも石津ちひろ文／福音館書店）のキャラクターたちがデザインされています。



こどもページの「あたらしい本」では、毎月「図書館の人がおすすめする本」として絵本・小学校低学年向け・中学年向け・高学年向けの4種類、Teens のページでは中高生向けの新しい本を紹介しています。

資料タイトルをクリックすると、所蔵状況を確認したり予約をすることも出来ますので、ぜひご覧ください。

（インターネットから資料を予約するにはパスワードが必要です。パスワード登録は5頁を参照）



（Teens のページのメニュー画面）

もう新図書館ホームページをご利用いただきましたでしょうか。

総務省統計局の調査では、世帯におけるスマートフォンの普及率が72%と、気軽にインターネットを利用できる環境が整ってきています。また、75～79歳の方で約6割、80歳以上でも4割超の方がメールの送受信をされているそうです（『日本統計年鑑（平成30年）』より）。

今回のホームページリニューアルでは、スマホでも使いやすいようにパソコンの画面と違和感のない画面づくりを心がけました。様々な機器、環境でホームページの益々のご利用をお願いいたします。